

展示会「世界のバリアフリー児童図書展

—IBBY 選定バリアフリー児童図書 2019」開催のお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では、令和2年7月28日（火）から8月30日（日）まで、「世界のバリアフリー児童図書展—IBBY 選定バリアフリー児童図書 2019」を開催します。

この展示会は、障害や、障害のある子どもへの読書推進活動について知っていただくためのものです。IBBY（国際児童図書評議会）が各国支部による推薦を受けて2019年に選定した世界20か国のバリアフリー児童図書40作品を展示します。

【お問合せ先】 国立国会図書館 国際子ども図書館
企画協力課 03-3827-2041(直通)

【展示会開催概要】

会 期	2020（令和2）年7月28日（火）～8月30日（日）
開館時間	9時30分～17時
休館日	月曜日、8月19日（水）
会 場	国立国会図書館国際子ども図書館レンガ棟3階 本のミュージアム
入 場 料	無料
そ の 他	開催予定が変更になる場合があります。最新情報については、公式ホームページでご確認ください。
ホームページ	https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2020-02.html

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館 国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。

バリアフリー児童図書とは？

本を読んだり、見たり、理解したり、ページをめくる動作などにバリア（障害・障壁）がある子どもも楽しめるように、さまざまに工夫された本のことです。

障害のある子どものための資料として一般になじみのある視覚障害者用の点字資料の他に、以下のような資料も含まれます。

- ・ 特別な形態の本（布の絵本、絵文字つきの本）
- ・ 障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる本
- ・ 障害を持つ人々を描いた、障害に対する理解を深める作品

【展示資料一例（日本から選出された作品）】

『モグモグぱっくん』 てのひらの会 制作 2008

フェルトやビーズ等を用いて制作された、手で触ったりしかけを動かしたりして楽しむ絵本（布の絵本）です。サルやペリカンといった様々な動物の口に付けられたファスナーを開けることで、中のポケットから動物が食べている物を取り出すことができます。ジッパーの開け閉めや物の出し入れといった動作によって、細かな手作業をこなす能力を、楽しみながら養うこともできます。

『夏がきた』 羽尻利門 作、あすなる書房 2017

日本のある海辺の地域で暮らす少年の、とある夏の一日を描いた絵本です。ストーリーや登場人物の関係、夏の爽やかな空気がイラストによって表現されており、発達に遅れのある子どもや、学習障害・知的障害のある子どもも楽しめる内容となっています。

本作のイラストは「IBBY 選定バリアフリー児童図書 2019」カタログ（2019 IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities）の表紙として採用されました。

『このあいだに なにがあった？』 佐藤雅彦, ユーフラテス 作、福音館書店 2017

文章がほとんど存在しない、写真によって構成された絵本です。見開きページの左右に写真が二枚並べられ、中央には「このあいだに なにがあった？」という問いかけだけが書かれています。ページをめくると、二枚の写真の間に何が起こったのか、答えとなる写真が載っています。文字がほとんど存在しないため、知的障害のある人も含めた、多様な読者の知的好奇心を刺激する絵本です。



※国際子ども図書館では、バリアフリー図書を紹介する展示会を2005年から始め、2010年以降は隔年で開催しています。

※この展示会はIBBYの日本支部であるJBBY（日本国際児童図書評議会）から展示資料の貸与を受け、実施しています。IBBY及びバリアフリー児童図書については、JBBYホームページもあわせてご確認ください。

<https://jbby.org/>